

【様式 1】

令和5年度 「ふくしまっ子元気大賞」 応募票

学校名	学校長名	児童生徒数	学級数	学校所在地
白河市立小野田小学校	関根 敦子	61	8	白河市東下野出島字髪内195

元気な小野田っ子！ ～健康を支える体力づくり～

○ 体力向上に向けて取り組んでいる元気な様子

日課表の工夫

令和5年度 日課表 (普通日課)

時刻	時間	月	火	水	木	金	勤務形態
8:10							出勤
8:20	10	集合活動 (朝の運動) (全校総務)	朝の読書	学級の時間	体力づくり		
8:30	10		朝の相談会				
	45		1 校時				
9:15	5		休み時間				
9:20							
	45		2 校時				
10:05	15	業間	フレンド遊び 第2・4水曜	業間			
10:20	5		移動・準備				
10:25							
	45		3 校時				
11:10	5		休み時間				
11:15							
	45		4 校時				
12:00							

1日60分以上の身体活動を行うことを目的に、日課表に「体力づくり」(毎週金曜日の朝)・「フレンド遊び」(第2・4水曜日の業間)を位置づけ、全校で体を動かす機会を設けています。「体力づくり」・「フレンド遊び」には、教員も一緒に取り組み、安全面に配慮し実施しています。

全校一斉の「体力づくり」



「体力づくり」とは、マラソン、ドリル(コーディネーショントレーニング)、なわとびの総称です。全校一斉に「体力づくり」に取り組むことで、児童の体力向上に大いにつながっています。他人との競争ではなく、個人の目標に向かって自分のペースで取り組むよう指導しています。

縦割り班での「フレンド遊び」



本校では外遊びを奨励しています。「フレンド遊び」とは、縦割り班での外遊びのことです。おにごっこやドッジボールなど、1年生から6年生まで楽しめる遊びを行っています。運動遊びを通して、追いかける・逃げる・投げる・捕るといった運動機能の基礎を形成しています。

偉大な先輩目指して



持久力の向上を目的に、白河市主催「しらかわ郷里マラソン」に学校行事として全校児童が参加しました。本校は、偉大な先輩である藤田 敦史さん(4年連続箱根駅伝出場、2000年福岡国際マラソン優勝、現 駒澤大学陸上競技部監督)の出身校です。全員がゴールし、3名が入賞しました。

運動身体づくりプログラム



毎時間の体育では、全学年必ず「運動身体づくりプログラム」の実施を徹底しています。動ける体・動きたい体を目指して、低学年は動きの楽しさを味わう、中学年は運動量の確保、高学年は動きの質を高めることをポイントに行っています。

熱中症ゼロ



今年度は暑い長い夏でしたが、本校での熱中症はゼロでした。毎日、養護教諭が環境省ウェブサイトにて暑さ指数(WBGT)を確認し、さらに校庭で業間前10:00・昼休み前13:00に暑さ指数を実測し、外遊びの可否を放送しました。

地産地消の収穫祭(栽培活動)



地域の農業のプロの方々を講師に、栽培活動を行っています。豚汁・もち・焼き芋を調理し味わう収穫祭は、本校の一大イベントです。地産地消の一連の栽培活動が、児童の豊かな感性・食への関心の高さの土台となっています。

効果的なティーム・ティーチング



実態に応じた内容でT・Tを行っています。本校児童は、指導内容を自分事として捉え、実生活に活かす素直さがあります。保護者の学校への関心も高く、ワークシートにはあたたかい一言が書かれ返却され、健康意識向上につながっています。

○体力向上に向けた『学校自慢』

本校の教育目標は、何より先に【健康な子ども】を掲げています。「全ての土台は健康な体から」と考え、児童・教職員・家庭・地域が一体となって取り組んでいます。【健康な子ども】の具体的実践事項としては、本校の伝統であり継続して行っている「体力づくり」、「フレンド遊び(外遊びの奨励)」、「保健指導の充実」などがあります。学校評価でも、体力向上に関わる項目は児童・保護者・教員とも「進んで取り組めた」と回答する割合が高いです。

当たり前のことを当たり前に、それに加えて本校独自の取組を継続して行った結果、今年度の小学校新体力テストでは、総合評価B以上の児童の割合は学校全体の60.1%、昨年度の県平均と比較すると全体的に上回る結果(反復横跳び・50m走・ボール投げ等が良好)となりました。また、朝食について見直そう週間運動での調査の結果、第1回・第2回とも、朝食摂取率100%でした。本校におけるさまざまな取組が、【健康な子ども】の育成に効果があると実感しています。

今後も、小規模校のよさを活かし、体力向上に努めてまいります。

